

同窓生は今



平成10年卒
濱口(武田)理佳

同級生の皆様お元気でしょうか。高校を卒業して二十年が経つんですね。日々の忙しさで時の早さに、そして卒業からそんなにも月日が経っていたなんて(笑)すっかり忘れておりました。昨年の秋頃から何気なく始めたところSNSで幹事である同級生と繋がることで、女子校時代の思い出が一気に甦ってきました。

高校時代の一番の思い出は部活動です。のちに私の進路へ大きく影響を及ぼすことになりました。入学式でコーラス部の先輩が歌ってくれた校歌は私の魂を揺さぶり入部するきっかけとなります。そしてなんとく続いていたピアノ。ピアノを辞められなかった理由は、現在再活動中のウィジュアル系バンド・X・J・A・P・A・Nが大好きで、いつか音楽家になって彼らに会いたい!そんな夢があったからでした。コーラス部に入部し私は良き友人と先輩、後輩に恵まれました。そして私の進路の背中を押す、時に優しくいつもバワフルな合唱指導をしてくださった恩師、森先生にはとても感謝しております。部活動をしていながら音大受験を目指そうと思つたのは二年生の秋も終わり頃だったでしょうか。学校外で他の先生方にご指導を頂く中で「ピアノ専攻は諦めて!」と言われ途方に暮れる私を顧問の森先生が「貴方の声は音楽に向いているわ!」と言って下さり、その言葉を信じて音大を受験する決心がついたのでした。約一年と数ヶ月しか入試準備期間がない中で合格するのが不安ではありましたが、親の反対を押し切り東京都

「音楽と私これから」

内にある東京音楽大学だけを受験し見事合格することができました。

大学では、音楽の専門分野はもちろんのこと教員教職課程も平行して受講していたのでとても充実した大学生を送ることができました。特に三年生からオペラコース(現在はありませんが)に専攻科目を変更しオペラの舞台の基礎等を学びました。在学中は学内コンクール第二位、学生オーケストラをバックにソリストとして演奏、都内の有名なホールでプロの方々のバックで合唱参加するなど田舎娘の私には新鮮で貴重な学びの時間ばかりでした。研究科に一年間のみで学んだが、大学のシステム変更などにより大学生活は幕を閉じます。在学中故郷を離れ応援してくれていた両親へは今もただただ感謝しかありません。

就職は、教員免許を武器に養護学校一年、小学校半年、出産のため退職。十二年間の都会の生活にピリオドを打ち宮城へ転居。そしてまた小学校の教員補助を二年、講師で小学校勤務し退職、現在は奈良県で四人の子供を育てる主婦をしています。

就職しながら音楽活動は細々とやりましたが、音楽一本で食べていくのは難しい現状です。今は子育てに奮闘する毎日で音楽からかけ離れた生活ですが、次は奈良県で活動を再開し花を咲かせたいと思う今日この頃です。そして憧れであり私の人生を代弁しているようなX・J・A・P・A・Nのライブへ四人の子供&主人と一緒に行くことを夢見てこれから人生を大事に歩んでいこうと思います。私の波瀾万丈だった二十代のお話は割愛します(笑)。ここまでの頃、私の生きていく支えとなった言葉を紹介しておきます。《やつてやれないことはない。やらずにできるわけがない》この言葉を胸に...

最後に、同窓生の皆様のご活躍とご多幸ある人生を送られますよう心からお祈り申し上げます。

「巡り合わせに感謝して」

同窓生の皆様、お元気でしょうか?原稿執筆の依頼を受けた時、古女卒業から二十年も経つのかと驚きつつ(自分の年齢を考えれば、そりやそうだ!という感じですが)懐かしい日々が思い出されました。

私は、古女卒業後に茨城県内の看護学校へ進学し看護師。仙台戻って助産師学校へ進学し助産師の資格を取得、現在は茨城へ戻り産婦人科医院に勤務しています。

学生時代からの念願叶って助産師としてスタートした訳ですが、やはり医療現場・産婦人科の現状は厳しいものでした。分娩を取り扱わない施設が増加し、ハイリスクな事例も増加していく中でそれに対応できる施設も限られている。時折ニュースで流れるようなそんな状況を、肌で感じています。現在勤務する産婦人科医院は、地域の中でも分娩件数が多く、業務に追われる毎日です。日々の業務をこなすのに精一杯で患者さん達とゆくり関わる事ができずにジレンマを感じたり、厳しい症例・悲しい症例に直面し落ち込む事も多々あります。ですがそんな時、赤ちゃんや患者さん達の笑顔・言葉と共に私を励ましてくれるのが、「助産師になりたい!」と、図書館や部活前の音楽室で友人達と受験勉強していた思い出です。とにかく数学が苦手でしたから、折角勉強して学校に入って資格を取ったんだ頑張ろう!と思うのでしょうか(笑)。

患者さん達や古女での日々と共に今の



平成10年卒
天賀谷(大町)理香

私を支えてくれるのが、助産師になってからふとしたきっかけで習い始めた「フラ」です。体を動かすのが苦手、古女在学当時ダンスの授業は憂鬱で仕方なかった私です。卒業して二十年が経ち、まさかフラを始めて十年以上続けているなんて、自分が一番驚いています。フラ仲間と汗を流し夢中になって練習したり、もつと素敵に踊りたいと歌詞や曲の作られた背景について調べたり、現地の空気や雰囲気を感じたいとハワイを訪れてみたり。まるでコーラス部で部活に打ち込んでいた頃のような日々を、今また過ごしています。二歳から還暦を過ぎた方まで、様々な年代のフラ仲間との関わりから得られる事は、仕事とは違う面を私を成長させてくれます。又、仲間とのつながりやフラを続ける中で感じる事は支えになりますし、ハワイの空気や雰囲気からはパワーや癒しをもらっています。

助産師という仕事に就いた事とフラに出会えた事。古女を卒業して二十年の中でもとても大きな大切な出来事で、今後においてもそれは変わらなれないと思います。この原稿を書きながら、こんな風に思える仕事や趣味に巡り合えたのは、すごくラッキーな事なんだと改めて感じましたし、古女での日々も、そんな巡り合わせだったのだと思います。これから、沢山のラッキーで素敵な出会い・巡り合わせがありますようにと願うばかりです。

編集後記
お忙しい中、原稿をお寄せいただきありがとうございました。お借りして御礼申し上げます。
多くの方々の深い絆を再確認することができました。ありがとうございます。
同窓生の皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げます。
吉原優子 伊藤江里子 水上未緒 伊藤恵
佐々木美和 尾形広美 熊谷久美

白梅会報

発行所 宮城県古川黎明中学校・高等学校同窓会 白梅会
〒989-6175 大崎市古川諏訪一丁目4番26号 電話 (0229) 22-3148

校歌

作詞 土井 晩翠
作曲 陸軍戸山学校
軍楽隊

一、荒雄川 また鳴瀬川
流れ合ふ 大崎平野
水絶えぬ 郷に匂る
なつかしのわたらの母校

二、一念の誠のしるへ
朝夕のたゆまぬ励
かがやける 望みにみち
わがみがき 心きたよ



同窓会会長
千葉 典子

ごあいさつ

今年の桜の季節は駆足で過ぎていきました。この会報がお手元に届く頃は夏の真盛りでした。

同窓会の皆様にはお元気で過ごしのことと存じます。日頃より同窓会の活動にご理解とご支援をお寄せいただき、心より感謝申し上げます。同窓会の活動も母校の歴史と共に、やがて百年を迎えようとしております。約三万名の卒業生の皆様お一人一人が積み上げて下さった輝かしい歴史が、三年後に百年という大きな節目を迎えるわけです。その時に立ち会えることの幸せを感じつつ、祝意をどのように表そうかと考えているところで、出来るだけ多くの同窓生の皆様のご参加をお願い申し上げます。

昨年は鹿島台支部の活動が久々に再開されました。支部総会には約三十名の方々の参加があり、支部長さん、役員の方々が選出され、新体制のもとでの再スタートとなりました。熱気に溢れ、エネルギー満載で、これからの活躍を期待される大変楽しい会でした。益々のご発展をお祈り致します。

さて突然ですが、母校の校歌は昭和四年に制定されました。本校が大正九年に創立して九年目のことになりました。古川出身の吉野作造氏が民本主義を主張し、大きな反響を呼ぶなど、民主主義の実現へと世の中が動いている最中のことです。そのような機運を背景に校歌がつくられたことを考えると、旧校歌に「国の未来の栄こそ女性の力:」と歌われた精神には、国の大きな流れの行き着く先を見据えた、希望に充ちた強い思いが感じられます。

今年の四月、母校の入学式に参列した折、新入生代表の方が「歴史の一部となれるよう強い意志を持って進みたい」と宣誓されたのを聞き、前をしっかりと見て、強い気持ちで歩もうとする姿勢に感動したことを思い出しました。

今年も五月の関東支部総会を皮切りに、次々と支部総会、役員会が予定されており、次々に同窓生の皆様のご意見をいただきながら、創立百周年を見据えての活動になると思いますので、皆様の一層のお力添えをよろしくお願ひ申し上げます。

最高の化学反応を 起こそう



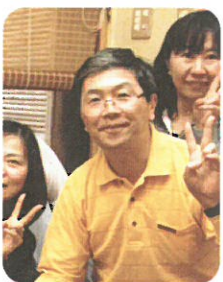
校長 阿部 修一

同窓会のみなさまには、母校の教育振興と在校生の激励のために、平素から特段のご支援・ご協力を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

本校では、今年度は、「黎明Chemis-try」最高の化学反応を起そう」と題して、生徒・教職員ともども元氣いっぱい活気に満ちた魅力あふれる学校づくりに推進して行こうと取り組んでいるところです。

今年の夏は、全国高等学校総合文化祭(みやぎ総文2017)が宮城県で開催されるとともに、全国高等学校

君の名は「古女」



恩師 鈴木 隆 先生

二年生の時の修学旅行は忘れられない。京都からの帰途に新幹線を台風が直撃し、遅れに遅れ東京駅に着いたのがなんと午後九時。そこから古女生貸し切りの臨時新幹線が出て、古川駅に着いたのは真夜中。改札を抜けると大勢の保護者が待っていた。駅のロビーで旅行団団長の佐々木喜平先生が生徒たちに「校長先生に話して、代休を一日増やしてもらいました。」と告げたら、生徒たちからは「やったー!」と大歓声が上がった。ちな

校総合体育大会(南東北インターハイ)が宮城、山形、福島の三県で開催される運びです。本校は、みやぎ総文2017へは写真部と軽音楽部、コーラス部選抜七人、吟詠剣詩舞愛好会が出場する予定です。一方、南東北インターハイは、県高総体あるいは東北大会の結果で出場が決定されます。

県高総体では、なぎなたで団体と演技競技一組が全国大会出場、卓球女子個人が東北大会出場となるなど、各部ともに大いに活躍をしてくれました。なかでも、陸上競技の活躍はたいへんめざましく、男子のハンマー投げ、女子のやり投げ・ハンマー投げ・円盤投げ・百メートルが優勝し、八種目十一名の東北大会出場を果たしたことはほんとうにすばらしく見事なものでした。

一方、文化部も、吹奏楽部、軽音楽部、コーラス部の定期演奏会の開催などをはじめとして、各部ともに大いに盛り上がりつつあります。

さて、現在、旧校舍跡地に新グラウンドの建設を進めているところで、完成の晩には、野球場が新設されるとともに、サッカー場、ソフトボール場、弓道場、テニスコート、ハンドボールコートなどがリニューアルされ、県内の公立高校の中では有数の充実した施設・設備を誇る学校となります。生徒のさらなる活躍がとて楽しみます。

本校は、今年度、古川黎明中学校・高等学校として十三年目を迎え、古川高等学校開校から数えて九十七周年となり、三年後には大きな節目となる百周年を迎える運びです。百周年記念事業達成のためには、同窓会、PTA、学校とが三者一体となる協力が不可欠です。同窓会の今一段のお力添えをいただければ幸甚に存じます。

同窓会のみなさま方のご支援とご協力を今後ともぜひよろしくお願ひいたします。

みにその時のことを詠んだ生徒の川柳が『三連休』聞いたとたんに疲れとぶ短歌が『帰りの道一番つまらぬは』次に私が感心した小説『山月記』の感想を紹介しよう。「私は李徴がうらやましい。全てを賭けて詩に打ち込んだというのは結果は別にして、自分の人生を生きたといえるのではないか。何も挑戦せずに安楽に生きて人生を終えるよりははずといい。私にも何か他の全てを犠牲にしてもいいような打ち込めるものがほしい。その結果虎になつてしまったら、それはそれで運命だと思つて受け入れるしかないのだと思う。」とかく元氣はつらつてエネルギッシュな一面が強調されがちな古女生だが、このように精神面も充実していた。

また感性も豊かで、繊細さとユーモラスな所がほどよく調和していた『春はあけぼの』の授業の後、好きな季節

について書かせたら「夏が好き。図書館で本を読んでいると、コーラス部の歌声や運動部のかけ声が聞こえてくる時。風に吹かれたカーテンが窓の外にふわりと出ていくのもいい感じ。」「午後、暑い日に部活が終わって家の扇風機の前で「あー」と声を出している時。アイスがスイカがあるとなおよい」

娘も古女卒だが、古女の三年間は自分の人生のかけがえのない財産だという。県外に出て、他校を卒業した友人たちに古女での生活を話すと一様に驚く。「そんな高校どこにもないよ」と。そのセリフを聞いたたびに「古女で過ごせて幸運だったなあ」としみじみ思うのだそう。これは同窓生に共通する思いに違いない。そんな古女に教師として十一年間、黎明も含めて勤務できた私も幸せ者だといえる。ありがとう古女!

笑 顔

進路指導部長 木村篤史
伝統ある古川女子高校の流れを汲む、古川黎明高校の進路部長を拝命して一年がたちました。慣れない立場に右往左往しながらの三五日でしたが、とにかく二、三二人が巣立つてゆくを見送ることができました。

その卒業生の進路を振り返ってみますと、数字的には国公立の合格者数が過去最高であった、ということがひとつのエポックと言えるでしょう。これは、一昨年度の卒業生が過去最高であったものをさらに上回った、という形での更新です。そしてもう一つ、高入生の国公立進学者数が最近になく多かつたことも特徴です。これは、来年度、初めて一貫生と高入生の混合クラスの卒業生を送り出すのの前に、ひとつの大きな弾みになると言えるでしょう。

「数字」の話題が長くなり過ぎました。新生活スタート直後の卒業生がちらほらと顔を見せてくれていますが、みな一様に笑顔です。その笑顔が来年も再来年も見られるよう微力ながら尽力していきます。

〈今春の主な進路先〉
○国公立大
北見工大、弘前大、岩手大、宮城教育大、東北大、秋田大、山形大、福島大、茨城大、筑波大、宇都宮大、埼玉大、東京学芸大、新潟大、富山大、岩手県立大、宮

城大、秋田公立美大、高崎経大、横浜国立大、都留文科大

○私立大
札幌学院大、酪農学園大、岩手医大、宮城学院女子大、尚絨学院大、石巻専修大、仙台白百合女子大、東北医薬大、東北学院大、東北工大、東北生活文化大、東北福祉大、東北文化学園大、東北芸術工大、奥羽大、国際医療福祉大、白鴎大、群馬パース大、獨協大、亀田医療大、秀明大、聖徳大、千葉科学大、和洋女子大、順天堂大、成蹊大、専修大、早稲田大、大妻女子大、拓殖大、中央大、東京音大、東京農大、日本大、明治大、立教大、フェリス女子大、鎌倉女子大、神奈川大、新潟医療福祉大、金沢工大、名古屋学院大、立命館大

○短大
山形県米沢女短、宮城誠真短、聖和学園短、東邦音楽短、鶴見大短大部

○各種学校
国際医福専一関、東北外語観光専、宮城調理製菓専、仙台接骨医療専、仙台理美容美容専、専デジタルアーツ仙台、東京法律専、東日本航空専、東北保健医療専、山形デザイン専、トヨタ東京自動車大学校、新潟医療技術専

○看護学校
葵会仙台看護専、仙台医療附看

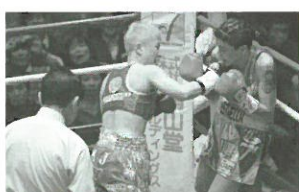
助、獨協医大附看専、旭中央病院附看、日本医科大学看護専、J R東京総合病、昭和医大附看専、横浜労災看護専

○大学校
東北職能大学校

○公務員
大崎市職員初級高卒程度、国家公務員高卒程度、自衛官(候補生)

○民間就職
YKKAP株式会社、株式会社共立メンテナンス、西日本旅客鉄道株式会社

フロボクサー
藤岡奈穂子さん(H6卒)
四階級制覇！



平成二十九年三月十三日、東京後楽園ホールにてWBA女子フライ級王座を獲得し、日本人男女を通じ初となる世界四階級制覇を達成した。

五階級制覇を目指し、今年十月二十九日大崎市総合体育館で試合が開催される予定。

本部総会だより

平成二十八年八月七日(日)グラウンド平成にて平成二十八年度古川黎明中学校・高等学校同窓会白梅会総会ならびに懇親会が行われました。参加者は百十八名。総会では全ての議案が承認されました。その後、フリーアナウンサーの大葉由佳氏による記念講演「わっはっは！でストレス発散！お話と笑いの体操」十歳若返る健康法」が行われ、会場が笑いで包まれました。懇親会は増田のり子様(高十一回卒)による踊りや古川黎明高等学校書道部によるパフォーマンスなどを交えた華やかな宴となりました。



平成三十年度白梅会総会は八月五日(日)に開催予定です。同窓生の皆様のご参加をお待ちしております。

支部だより

関東支部

一月末に開催された「四校新年の集い」では二四一名(黎明五七名が郷里への思いを胸に集いました。ずんだ餅に舌鼓を打ちながら学年ごとの四校の輪が広がりました。

三本木支部



五月の同窓会では、ご来賓の方々のお話により、三年後の百周年への思いや後輩の勉学のみならずスポーツにも励む生き生きとした姿を知る事が出来ました。管弦楽団によるモーツアルトの曲を聴いた後、指揮伴奏でふるさと、校歌を歌い来年の再会を誓いました。

吉野作造記念館で開催した三本木支部交流会

三本木では広報誌に載せて同窓生全員に交流会のお知らせをしています。去年の九月二十二日大崎市の誇る現在の民主主義の基礎を築いた「吉野作造博士」を学ぶため、吉野作造記念館にでかけました。参加者は来賓を含め二十九人でした。記念館の大川館長様から演題「民主主義百周年 家族で語り合う民主主義」という講話をしていただきました。政治には個人が参加し自分の生活を決定していく責任があるということでした。その中には婦人の力も大きく貢献するという話が含まれておりました。また同窓生でありピアノ講師の工藤聡美様にもステキな曲の演奏で花

古川支部



を添えてもらいました。三本木に交流会が定着して八回目となりますが、いつも白梅の薫る雰囲気の中で一日を過ごし、学生時代に返る唯一の楽しみになっています。これが我が母校と胸を張ってこれからも続けていきたいと思えます。

支部長 二郷 成子

本々の縁も一段と色濃く爽やかな好季節となつて参りました。平成元年にうぶ声をあげた古川支部も早二十九年目を迎え、会員皆様の御理解御協力のもと運営をして参りました。支部の活動は、年一回七月第一日曜日と決め、総会を開催、講演会等も含め、二年に一回研修旅行を計画、二十八年度は、仙台うみの杜水族館、塩釜方面へと楽しい一日を過ごして来ました。今年の総会時には、会員であるお花の先生に依る「暮らしに身近なフラワーアレンジメント」と題して、出席者で作る楽しみを待っているところです。最後になりましたが、母校の益々の発展と同窓生皆様の御多幸を心より御祈念申し上げます。

支部長 佐藤 恵子

同窓会各支部の事業報告 (H28年度)

- 5月15日(日) 関東支部総会 品川プリンスホテル
- 6月25日(土) 塩釜支部懇談会 レストラン シェヌー
- 6月26日(日) 田尻支部総会 沼部公民館
- 7月3日(日) 古川支部総会 グランド平成
- 8月7日(日) 同窓会本部総会 グランド平成
- 9月22日(木) 三本木支部交流会 吉野作造記念館
- 10月16日(日) 高清水支部総会 高清水地区コミュニティセンター
- 11月13日(日) 鹿島台支部総会 桜下開花亭
- 11月19日(土) 仙台支部懇親会 菜時季 大原

謹んでお悔やみ申し上げます。

恩 師 佐々木 喜平 先生 (S42年、H9年)

同窓生 千葉(石川)明子 様 (S16年卒)

同窓生 千葉(中沢)乃利子 様 (S26年卒)

同窓生 桜田(安曇)あや子 様 (S33年卒)

同窓生等がご逝去された際には、弔電をお送りいたしますので、同窓会までお知らせください。

平成29年4月1日現在

過去3年間の進路状況

		進 学														就 職			受 験 準 備	そ の 他	計	
		大 学			短大		専修各種学校								大 学 校	海 外 進 学	就 職					
		国 立	公 立	私 立	公 立	私 立	工 業 系	医 療 系	衛 生 系	教 育・ 福祉系	商 業 実 務系	服 飾・ 家政系	文 化・ 教養系	そ の 他			公 務 員	民間 （県内）				民間 （県外）
2016	普通科	29	12	135	1	10	1	14	3	0	3	0	7	0	1	0	6	2	1	7	0	
	計	176			11		28										9					232
2015	普通科	26	12	144	0	6	1	16	3	0	3	0	6	0	1	0	3	6	0	11	1	
	計	182			6		29										9					239
2014	普通科	27	9	134	0	7	2	16	4	1	3	0	6	0	3	4	※5	4	0	10	0	
	計	170			7		32										9					235

*2014公務員に防衛大学校1含む